

令和 5 年 5 月 19 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2019～2022

課題番号：19H01328

研究課題名(和文) 西洋中世における境界地域の統治システムに関する比較史的研究

研究課題名(英文) Comparative Analysis of Governances in Borderland Areas of Medieval Europe

研究代表者

高山 博 (Takayama, Hiroshi)

東京大学・大学院人文社会系研究科(文学部)・名誉教授

研究者番号：90226936

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,100,000円

研究成果の概要(和文)：研究目的に沿った共同研究を進めた結果、研究代表者の高山博・亀長洋子編『中世ヨーロッパの政治的結合体：統治の諸相と比較』(東京大学出版会、2022)を得ることができた。本論集は、統治(governance)と政治的結合体(polity)というキーワードを設定し、西洋中世の諸地域におけるその展開の比較を試みた。その結果、現在の大国にフォーカスする従来の研究では等閑視されがちであった北欧、東欧、南欧、アルメニア、黒海のような辺境の意義、教皇庁や修道会のように国境や言語圏を越えた広域ネットワークへの機能、統治するものと統治されるものの相互作用から生成する独特の政治文化などが確認された。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究を通じて西洋中世において多様なかたちで展開した統治システムと政治体の比較を行うための基礎的なデータとアプローチのための枠組みが提示されたことにより、前近代世界における統治と政治体の比較研究を一層進展させることが可能になった。より具体的には、本研究による手法をイスラーム世界、中央アジア、東アジア、アフリカ世界など諸国家に適用することで、前近代世界全体に対して統治と国家形成の比較史を試みることに可能である。それは、私たちが従来理解してきた世界史の枠組みを改めて問い直すことにも繋がり、研究者や大学のみならず、一般や中等教育における世界史認識を刷新することにもつながると判断できる。

研究成果の概要(英文)：The collaborative research resulted in the book: Hiroshi TAKAYAMA, and Yoko KAMENAGA (ed.), *Polities in Medieval Europe: Aspects and Comparison of Governances* (Tokyo: The University of Tokyo Press, 2022). This collection of essays, which set the keywords "governance" and "polity," attempted to compare their development in various polities of Europe and the Mediterranean in the Middle Ages. As a result, the following points of discussion were confirmed: First, the socio-political significance of borderland areas such as Scandinavia, Eastern Europe, Southern Europe, Armenia, and the Black Sea, which have often been overlooked in previous studies that focus on current major powers; Second, the functions of far-reaching networks across political borders and linguistic regions, such as the Papacy and monastic orders; Third, unique political cultures that were generated from the interaction between those who govern and those who are governed.

研究分野：西洋中世史

キーワード：西洋中世 制度 統治 polity 国家 比較 境界 異文化

1. 研究開始当初の背景

研究代表者は、ラテン、ギリシア、イスラムという異文化の諸要素が混交する12世紀のシチリア島という境域に成立したノルマン・シチリア王国の統治システムについて、長年研究を積み重ねてきた。その成果をまとめた単著並びに専門論文では、従来、多言語多文化環境に即し特異かつ複雑な発展を遂げたとされたノルマン・シチリア王国の行政制度が、異文化交流を生み出す境域という現地の事情に即した実践的な制度であることを論証した。12世紀のノルマン・シチリア王国の事例を通じて、i) ラテン、ギリシア、イスラムという異文化の特徴を抽出し、ii) シチリア島という地中海における境域という政治的・文化的・地理的条件を勘案し、iii) その上で統治システムを理解するためには古代から通時的にその発展過程を位置づける必要があることが理解された。

上記予想に基づき、申請者は、科研費補助金などを得ながらイタリア、フランス、ブリテン、ドイツ、スペイン、教皇庁、ビザンツという中世の諸政治体についても同様の検討を進め、西洋中世世界全体の統治システムを、とりわけ中央と地方との関係に注目しながら比較史的に跡付ける作業を行った。その結果、i) 現実の中世社会においては、実力のある諸侯は国王より力を持ち、行政区分上は王国内であっても独立した国家として機能しており、他方で ii) 国王が力を増す時には、国王より統治権力を分譲された役人が統治する地方行政システムのあり方を理解することが重要であることが判明した。

以上を踏まえ、西洋型統治システムの基盤となった西洋中世の統治行政システムの特徴を明らかにするためには、異文化接触が直接的に観察されうる各統治システム上の境界地域の事例に注目し、そのようなシステムがなぜ、そしてどのように生成し、機能し、変化したのか、そして西洋型統治システムがもつ固有の価値は何であるのかを具体的事例の検討を持って抽出することの重要性を認識するに至った。この点をさらに敷衍するならば、以上の問いで明らかにされる諸点は、東アジア、中央アジア、イスラム世界、アフリカ世界といった別個の統治システムの歴史的発展との比較が可能となる。それは西洋中世の統治行政システムそれ自体の特徴をより明確にするとともに、異文化集団を統治することの普遍的原理の解明にも資する。

2. 研究の目的

以上の問いに具体的な解答を与えるために以下を研究目的とした。

境界地域に対する統治システムに関する比較史の方法論の確立

本申請研究では、西洋中世の政治体が構築してきた、その境界地域に対する統治システムを比較し、その特徴を抽出することを直接の目的としている。そのためには、それら政治体もつ境界地域に対する統治システムを同一条件のもとに比較しなければならない。しかしながら、従来の研究においては、境界地域に対する統治システムを分析するために、具体的にどのような基準・指標を定めて比較すべきかが十分に論じられていない。本申請研究では宗教・言語・思想・法あるいは慣習など文化の様々な面を異にする人間集団の接触とそれが統治のあり方にもたらした影響に注目しつつ、個別研究を行うメンバー全員が共有することのできる手続きと評価の諸基準を確立する。この基準は、研究分担者や補助者の報告などをフィードバックしながら、最終報告年度にまとめられることが期待される。

異文化接触という観点での個別政治体の特徴の抽出

で定めた比較方法を西洋中世の政治体に適用し、異文化接触という観点から統治システムの特徴を抽出する。その際、5～15世紀の西洋中世世界全体を以下のように分類する。

()内は、具体的に検討する境界地域である。

- i) 北ヨーロッパ圏：ブリテン諸島(スコットランド、アイルランド、ウェールズ); 北欧(デンマーク南部、ノルウェー島嶼部、アイスランド)
- ii) 大陸圏：フランク王国(辺境伯領); フランス(ノルマンディー); ドイツ(ロートリンゲン); 低地地方; 東欧(ハンガリー)
- iii) 地中海圏：イタリア(黒海植民市+シチリア王国); 南フランス; イベリア半島(レコンキスタ境界域)
- iv) ビザンツ圏：ビザンツ帝国辺境部; ロシア; ブルガリア; アルメニア

聖界集団による異文化集団に対する政策や情報の政治権力に対する影響の考察

本研究では、全体として政治権力による境界地域の統治システムを考察する際に、教会権力による影響を考慮する。とりわけラテン・カトリック世界における教皇庁とギリシア正教世界におけるコンスタンティノープル主教座は、それぞれの宗教圏において、管区内全体に司教区や修道会を通じて情報を収集することが可能であると同時に、政治権力が十分に及ばない境界地域やヨーロッパ世界の外部へ独自に施設を派遣することで状況を把握する試みも行っていたと想定される。その結果として教会権力内での蓄積された異文化集団の情報は、政治権力の統治システムにも影響を与えていた可能性も考えられる。このような観点から、 で検討される諸地域の統治システムとの関係を検討する。

境域を通じた西洋中世世界全体の統治システムの特徴の再現

最終的に から の個別論点を加味することで、境域統治を通じた西洋中世全体の統治システムの特徴を再現する。

3. 研究の方法

本研究で明らかにすべきは(2)の目的で示しているが、より具体的にいうならば、

- i) 研究代表者による、異文化接触を通じた境域統治という観点で西洋中世の統治システムを比較するための適切な基準の確定
- ii) 研究代表者を含めたメンバーによる、各政治体の研究に関する十分な研究史の整理と論点の抽出(担当地域は下記の組織表内に示す)
- iii) 研究代表者を含めたメンバーによる、特定時代における各政治体に関する史料に基づく実証的分析
- iv) 研究代表者による、異文化接触という観点での西欧中世世界全体の統治システムの再現と特徴の抽出

上記の目的を達成するために以下の研究グループを構成する。研究グループは比較検討作業を効率的に進めるため、以上のメンバーを以下のように編成する。研究代表者が全体を統括し、サブグループごとに部門統括者を設置する。とりわけ統括者は、本申請研究において必要な、個別研究担当者が共有すべき比較方法とその基準の選定を担う。

全体統括+比較方法論：高山

- i) 北ヨーロッパ圏：小澤(統括)、加藤、田付秋子(Trinity College Dublin; アイルランド)、内川勇太(Univ. of Cambridge; ウェールズ)、成川岳大(Univ. of Oslo; アイスランド)
- ii) 大陸圏：加藤(統括)、菊地、大貫、鈴木広和(大阪大学; ハンガリー)、青山由美子(日本女子大他; 低地地方)
- iii) 地中海圏：亀長(統括)、加藤、阿部俊大、向井伸哉(Univ. of Toulouse; 南フランス)

- iv) ビザンツ圏：草生（統括）、仲田公輔（Univ. of St Andrews；盛期ビザンツ＋アルメニア）、紺谷由紀（Cardiff Univ.；初期ビザンツ）
- v) 聖界ネットワーク：藤崎（統括）、源河達史（東京大学・教会法）、草生、大貫、梶原洋一（Univ. of Lyon）、纒田宗紀（Aachen Univ. of Technology）

4．研究成果

以上の目的に沿って共同研究を進めた結果、途中コロナによる対面活動の制限を受けたにもかかわらず、研究会の定期的開催、海外研究者の招聘、海外学会での報告などを通じて、研究代表者ならびに研究分担者による多数の業績を刊行することができた。ここではとりわけ、本科研の大きな成果の一つであり、研究代表者の高山と研究分担者の亀長が編者となった『中世ヨーロッパの政治的結合体：統治の諸相と比較』（東京大学出版会、2022）の内容を紹介しておきたい。

本論集は、統治（governance）と政治的結合体（polity）というキーワードを設定し、中世ヨーロッパを「北欧・イングランド世界の政治的結合体」「大陸ヨーロッパ世界の政治的結合体」「教会世界の政治的結合体」「南ヨーロッパ世界の政治的結合体」「ビザンツ世界の政治的結合体」という五つのパートに分け、各地域の特徴を比較することで、中世ヨーロッパの統治システム全体を明らかにする成果である。研究代表者による総論、分担者によるパートごとの総括5本、そして研究協力者も含めた個別論文22本から構成されている。その際、①現在の大国にフォーカスする従来の研究では等閑視されがちであった北欧、東欧、南欧、アルメニア、黒海のような辺境への注目、②教皇庁や修道会のように国境や言語圏を越えた広域ネットワークへの着目、③統治するものと統治されるものの相互作用から生成する独特の政治文化の抽出といった本科研の目的に沿った成果を得た。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計19件（うち査読付論文 3件 / うち国際共著 3件 / うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 高山博	4. 巻 7・8
2. 論文標題 歴史学 概説	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Guideline	6. 最初と最後の頁 45-47
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 草生久嗣	4. 巻 1009
2. 論文標題 （書評）小林功『生まれくる文明と対峙すること：7世紀地中海世界の新たな歴史像』ミネルヴァ書房2020年1月刊	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 歴史学研究	6. 最初と最後の頁 25-27
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 草生久嗣・有田豊	4. 巻 13
2. 論文標題 （彙報）西洋中世学会第13回大会シンポジウム報告 異端の眼、異端を見る眼	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 西洋中世研究	6. 最初と最後の頁 172-174
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 草生久嗣	4. 巻 131-1
2. 論文標題 （書評）池上俊一著『ヨーロッパ中世の想像界』名古屋大学出版会2020年2月刊	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 史学雑誌	6. 最初と最後の頁 80-89
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 草生久嗣	4. 巻 131-1
2. 論文標題 (大会報告)ピザンツ帝国教会改革期のコムネノス知識人 - 註解者エウティミオスと異端学 -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 史学雑誌	6. 最初と最後の頁 111
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤崎衛	4. 巻 17
2. 論文標題 教皇庁とモンゴルとの接触 13世紀におけるコミュニケーション手段	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 メトロポリタン史学	6. 最初と最後の頁 67-88
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高山博	4. 巻 36
2. 論文標題 文明の交流と衝突 ~ 中世、十字軍から現代を見る	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Aspen Fellow	6. 最初と最後の頁 8-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高山博	4. 巻 129-5
2. 論文標題 2019年の歴史学界 : 総説	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 史学雑誌	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小澤実	4. 巻 14
2. 論文標題 ヴァイキングゆかりの商都	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 工芸青花	6. 最初と最後の頁 124-128
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小澤実	4. 巻 13
2. 論文標題 カール大帝の修道院	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 工芸青花	6. 最初と最後の頁 38-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 阿部俊大	4. 巻 70
2. 論文標題 カルロス・エステパ (阿部俊大訳) 「戦争と課税: カスティール王アルフォンソ 8 世の治世 (1158 - 1214年) から13世紀にかけての軍役給付金」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 文化學年報 (同志社大学文化学会)	6. 最初と最後の頁 1-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 阿部俊大	4. 巻 49
2. 論文標題 ブルース・M・S・キャンベル (東京都立大学西洋中近世史ゼミ訳) 「『大遷移 後期中世世界における気候・疫病・社会』より第1章」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 人文学報	6. 最初と最後の頁 112(29)-175(66)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小澤実	4. 巻 13
2. 論文標題 カール大帝の修道院	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 工芸青花	6. 最初と最後の頁 38-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 加藤玄	4. 巻 6
2. 論文標題 中世英仏関係における「海峡都市」カレー	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 都市史研究	6. 最初と最後の頁 53-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 KAMENAGA ANZAI Yoko	4. 巻 44
2. 論文標題 The Medieval Genoese Consciousness between Their Government and Their Colonial World in Romania by the Analysis of a letter	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Soyang Chungsesa Yongu	6. 最初と最後の頁 181-203
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21591/jwmh.2019.44.2.181	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 KIKUCHI Shigeto	4. 巻 3
2. 論文標題 Threat and menace for stability: on the use of sanction clauses under the early Carolingians	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Spicilegium	6. 最初と最後の頁 15-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 KIKUCHI Shigeto	4. 巻 38
2. 論文標題 [Research note] Some remarks on consensual aspects in the Carolingian monastic communities	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 青山史学	6. 最初と最後の頁 37-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 FUJISAKI Mamoru	4. 巻 44
2. 論文標題 Diplomatic Communication between the Popes and the Khans until 1270s	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Western Medieval History	6. 最初と最後の頁 69-99
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21591/jwmh.2019.44.2.069	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 藤崎衛	4. 巻 11
2. 論文標題 母、教師、花嫁としての中世ローマ教会	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 西洋中世研究	6. 最初と最後の頁 31-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計22件(うち招待講演 4件/うち国際学会 9件)

1. 発表者名 草生久嗣
2. 発表標題 異端を見る眼：中世ビザンツ帝国の異端学
3. 学会等名 第22回洛北史学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 内川勇太
2. 発表標題 アングロ＝サクソン後期イングランドの統治における文書使用：令状以前の書簡使用の実態をめぐって
3. 学会等名 政治的統合体研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 纒田宗紀
2. 発表標題 中世教皇庁の財務管理ネットワーク：北欧における聖地支援金徴収の事例から
3. 学会等名 政治的統合研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 仲田公輔
2. 発表標題 10世紀におけるビザンツのアルメニア統治政策と在地有力者のネットワーク
3. 学会等名 政治的統合研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 柴田隆功
2. 発表標題 10世紀イタリア王国における法知識とその実践：オットー1世の立法から
3. 学会等名 政治的統合研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 TAKAYAMA Hiroshi
2. 発表標題 The Norman Court of Sicily: A Crossroads of Greek, Arabic and Latin Cultures
3. 学会等名 Yale Lectures in Medieval Studies, Fall 2019, sponsored by the Department of History & the Program of Medieval Studies, Yale University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 TAKAYAMA Hiroshi
2. 発表標題 Multilingual Documents of Medieval Sicily and Peasant Studies
3. 学会等名 Princeton's Comparative Diplomatics Workshop, Princeton University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 TAKAYAMA Hiroshi
2. 発表標題 Islamic Sicily an Introduction: Was the Norman Court of Sicily 'the Pleasure Dwellings of the Mohammedan East'?
3. 学会等名 The CU Mediterranean Studies Group and Supporting Units, University of Colorado, Boulder (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 TAKAYAMA Hiroshi
2. 発表標題 Muslim Peasants in Norman Sicily: Reconsidering Established Categories
3. 学会等名 The CU Mediterranean Studies Group and Supporting Units, University of Colorado, Boulder (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ABE Toshihiro
2. 発表標題 The Treatment of Islamic Coins in the Christian Kingdoms in the High Middle Ages
3. 学会等名 International Medieval Congress (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 阿部俊大
2. 発表標題 大レコンキスタ期 (1212-1252) における教皇庁のイベリア政策
3. 学会等名 西洋中世ガヴァナンス研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大貫俊夫
2. 発表標題 盛期中世における修道会秩序の形成 クリュニーとシトー
3. 学会等名 西洋中世ガヴァナンス研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大貫俊夫
2. 発表標題 盛期中世におけるシトー会修道院とインエクレスИАメント
3. 学会等名 東洋大学人間科学総合研究所公開研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小澤実
2. 発表標題 ヴァイキング襲来期イングランドにおけるデーンゲルドの徴収
3. 学会等名 西洋中世ガヴァナンス研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 KAMENAGA ANZAI Yoko
2. 発表標題 The Medieval Genoese Consciousness between their Government and Their Colonial World in Romania by the Analysis of a letter
3. 学会等名 第10回日韓西洋中世史研究集会（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 KAMENAGA ANZAI Yoko
2. 発表標題 Some Genoese aspects in 'Romania' in the middle ages
3. 学会等名 The Mediterranean Workshop: Italian Community in Istanbul during Byzantine and Ottoman Periods（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 亀長洋子
2. 発表標題 中世ジェノヴァ政府によるロマニア居留地行政
3. 学会等名 西洋中世ガヴァナンス研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 KIKUCHI Shigeto
2. 発表標題 Some remarks on consensual aspects in the Carolingian monastic world
3. 学会等名 Workshop: Authority and consent in medieval religious orders (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 草生久嗣
2. 発表標題 東地中海世界における統治システム可視化の諸相：ビザンツ帝国の儀典研究
3. 学会等名 2019年度文学研究科プロジェクト（北村昌史代表）第一回研究報告会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 草生久嗣
2. 発表標題 ビザンツ・コムネノス期行政機構再考：官位論の可能性
3. 学会等名 西洋中世ガヴァナンス研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 FUJISAKI Mamoru
2. 発表標題 Diplomatic Communication between the popes and the Khan until 1270s
3. 学会等名 第10回日韓西洋中世史研究集会（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤崎衛
2. 発表標題 中世教皇領支配の理念と実態 11～13世紀を中心に
3. 学会等名 西洋中世ガヴァナンス研究会
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計15件

1. 著者名 高山 博、亀長 洋子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 648
3. 書名 中世ヨーロッパの政治的結合体	

1. 著者名 デイヴィド・アブラフィア、高山 博、佐藤 昇、藤崎 衛、田瀬 望	4. 発行年 2021年
2. 出版社 藤原書店	5. 総ページ数 536
3. 書名 地中海と人間 原始・古代から現代まで	

1. 著者名 デイヴィド・アブラフィア、高山 博、佐藤 昇、藤崎 衛、田瀬 望	4. 発行年 2021年
2. 出版社 藤原書店	5. 総ページ数 512
3. 書名 地中海と人間 原始・古代から現代まで	

1. 著者名 Kikuchi, Shigeto	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Harrassowitz	5. 総ページ数 1048
3. 書名 Herrschaft, Delegation und Kommunikation in der Karolingerzeit	

1. 著者名 加藤 玄	4. 発行年 2022年
2. 出版社 山川出版社	5. 総ページ数 112
3. 書名 ジャンヌ・ダルクと百年戦争	

1. 著者名 ウィンストン・ブラック、大貫 俊夫、内川 勇太、成川 岳大、仲田 公輔、梶原 洋一、白川 太郎、三浦 麻美、前田 星、加賀 沙亜羅	4. 発行年 2021年
2. 出版社 平凡社	5. 総ページ数 384
3. 書名 中世ヨーロッパ	

1. 著者名 阿部俊大（共著）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 228
3. 書名 小林功 / 馬場多聞編『地中海世界の中世史』	

1. 著者名 加藤玄（共編）、菊地重仁（共著）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 明石書房	5. 総ページ数 388
3. 書名 中野隆生・加藤玄編『フランスの歴史を知るための50章』	

1. 著者名 菊地重仁（共著）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 山川出版社	5. 総ページ数 228
3. 書名 三浦徹編『750年 普遍世界の鼎立（歴史の転換期3）』	

1. 著者名 草生久嗣（共著）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 慶應義塾大学出版会	5. 総ページ数 332
3. 書名 神崎忠昭・長谷部史彦編著『地中海圏都市の活力と変貌』	

1. 著者名 高山博（共著）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 左右社	5. 総ページ数 300
3. 書名 本村凌二・高山博著『衝突と共存の地中海世界』	

1. 著者名 高山博（共著）、亀長洋子（共著）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 山川出版社	5. 総ページ数 730
3. 書名 齊藤寛海編『世界歴史大系イタリア史2 中世近世』	

1. 著者名 藤崎衛（翻訳）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 八坂書房	5. 総ページ数 382
3. 書名 G・バラクロウ（藤崎衛訳）、『中世教皇史 [改訂増補版]』	

1. 著者名 小澤実（共著）、大貫俊夫（共著）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 744
3. 書名 石田勇治他編『ドイツ文化事典』	

1. 著者名 阿部俊大（共著）、小澤実（共著）、大貫俊夫（共著）、加藤玄（共著）、藤崎衛（共著）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 321
3. 書名 金澤 周作監修『論点・西洋史学』	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	加藤 玄 (Kato Makoto) (00431883)	日本女子大学・文学部・教授 (32670)	
研究分担者	草生 久嗣 (Kusabu Hisatsugu) (10614472)	大阪公立大学・大学院文学研究科・教授 (24405)	
研究分担者	大貫 俊夫 (Onuki Toshio) (30708095)	東京都立大学・人文科学研究科・准教授 (22604)	
研究分担者	亀長 洋子 (kamenaga Yoko) (40317657)	学習院大学・文学部・教授 (32606)	
研究分担者	藤崎 衛 (Fujisaki mamoru) (50503869)	東京大学・大学院総合文化研究科・准教授 (12601)	
研究分担者	阿部 俊大 (Abe Toshihiro) (60635788)	同志社大学・文学部・教授 (34310)	
研究分担者	菊地 重仁 (Kikuchi Shigeto) (80712562)	東京大学・大学院人文社会系研究科(文学部)・准教授 (12601)	
研究分担者	小澤 実 (Ozawa Minoru) (90467259)	立教大学・文学部・教授 (32686)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------